

1月6日

テーマ：「サタンの変装」

聖書箇所：コリント人への手紙第二 11章 13節～15節

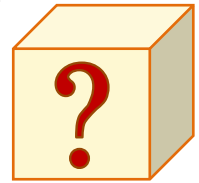
◆今日のみことば

ですから、サタンの手下どもが義のしもべに変装したとしても、格別なことはありません。彼らの最後はそのしわざにふさわしいものとなります。

コリント人への手紙第二 11章 15節

◆メッセージ

洋服でも、バッグでも、食べ物でも、他にもいろいろなものに偽物ってありますよね。どうして偽物があるのでしょうか？それは、本物がすごいからです。人気があるからです。それで、デザインや味など、本物に似せて作ってちょっと安くしたり、本物らしく見せてだましたりして、本物の邪魔をするのです。そして、偽物の方がたくさん売れてしまったり、中には、偽物を本物と思い込んでしまう人たちまで出てくるのです。こうなると、偽物を作った人の思うつぼ、ですね。



神さまに敵対するサタン＝悪魔も、神さまの邪魔をしようと、あの手、この手を仕掛けてきます。たとえば、偽物の神である偶像を拝ませるように人間たちを誘惑して、本物の神さまの邪魔をします。また、お金をたくさん持つことや偉くなることが何よりも大事なことと思込ませて、すべてを与えてくださる神さまを信じ、感謝することを忘れさせようとしします。「光の御使いに偽装する」(14節)とはそういうことです。エデンの園でエバに、善悪の知識の木の実を食べても死なないよ、神さまのようになれるよ、って魅力たっぷり誘惑した時と同じやり方です。

それで中には、聖書を使って間違っことを教えて人々をその気にさせたり、びっくりするよ

うなことをして見せたり、自分がキリストだ、とか、神だ、とか言う人たちも出てきたりしますが、それはサタンの手先として使われているだけなのです。ちっともすぐありません。やがて、サタンとともに滅ぼされてしまいます。

私たちは、こういうサタンの変装を知っておくこととともに、何より大切なのは、本当の神さまにしっかりと信じて立つことです。そのためにも、こうして毎日聖書のみことばをいただき、家族とともに祈り、神さまを礼拝し続けて行きましょう。そこには、サタンのつけ込め隙はありません。さあ、今日も、神さまとともに出発しましょう！



◆お祈り

「天のお父さま。サタンのいろいろな変装にだまされしないで、いつもあなただけを信じて歩みますように！」

(円山聖書教会牧師 時松六博)